

ウオッチング多摩ニュース

第76号

2016年7月12日
ウオッチング多摩の会

論議が低調！ 6月議会報告

期待外れ！ 歯がゆい！

空振り続きの傍聴

前回、ウオッチング多摩ニュース75号で「議会にも申す！」として「明確な意思表示を」「憤慨」に極まれり」「市議会への要望書」などで特集号を出した。

私たちの声が少しは届いたかと、少々期待して6月議会の傍聴に臨んだが空振りで終わってしまった。何のためにこんなことを飽きもせずやっているのかとまたストレスを溜め込んだ。

ただひたすら少しでも「まちが良くなれば」の一念で取り組み「継続は力なり」を信じ、めげもせず今回もウオッチング多摩ニュース76号をここに発刊する。

議員の皆さんから、「誰も頼んでもないし、好きでやってるんだらう」「私たちは選良な

んだから」「意味がないならやめたら」、こんな声が聞こえてこないことを願うのみです。
私たちは手弁当と、心を寄せて頂く市民の方々のカンパで、汗を掻きながらの活動です。「補助金やらを貰ったら」との声も聞くが、市民活動の補助金には違和感がある。

議論が少ないパルテノン大規模改修

今議会の目玉はパルテノン多摩改修案件であり、この議論が展開されるのではと期待した。一般質問で取り上げた4議員の質疑・答弁からそれを拾ってみた。

遠藤ちひろ議員

遠藤ちひろ議員は、「これからの劇場・ホールは“文化の殿堂”であってはならない。パルテノンがもう一度輝くための運営強化論ならびに、財政危機になっても運営費がカットされないための提案」。多摩市複合文化施設「パルテノン多摩の存在意義について」だったが、大改修もさることながら運営が重要でその人事の重要性の質問に対し、市長か

今号の特集

パルテノン大規模改修

4 ページ

- ・超スピードで進む80億円改修計画
- ・いつから財政に余裕が生まれたのか
- ・市議会は待っているだけでよいのか

ら「マネージメントの視点で全権を任せてプロデュース力を持った人」との答弁だった。重要なキーポイントのため、しっかり見守っていききたい。



岩永ひさか議員

岩永ひさか議員は、「多摩市複合文化施設「パルテノン多摩」の存在意義について問う」。岐阜県可児市にある文化創造センター「アーラ」、芸術の殿堂ではなく人間の家のコンセプトの紹介があり、この感想を求めたところ安里政策官の答弁「感銘を受けた、私がやるのではない市民と合意、市民とのコラボで進めたい」としたが、新任早々の政策官に酷な話だとは思いますが多摩市にお勉強に來られたのではないでしょうから、短い任期ですが(2年)政策立案実現を期待したい。

三階道夫議員

三階道夫議員は。パルテノン多摩の改修とは外れるが「多摩センター駅周辺の活性化について」。わんにゃんランドの跡地はどうなるかの質問に対し、須田部長は「未利用地は可能性を秘めている都の位置づけ、多様な機能、全体のバランスの下で」と答弁しているが、何を今さらと呆れてしまう。この地域の開発に当り「若者で賑わう場作り」としてスノーボード、ゲームセンター、テニスコート、わんにゃんランド等々をオープンしたがあつという間にことごとく撤退し、長い間、草茫々の状態がやっと広大な更地地面として今露出されている。URのやることだからと人ごとではなく、しっかり歴史に学びこの多

摩市にとって二度とこの膨大な時間的ロスは避けるべきだ。

伊地智恭子議員

伊地智恭子議員は「パルテノン多摩の改修工事について」。営利を目的とするものではないが、持ち出しが多くなる、常に民間の視点での質問に対し東島部長は「民間のコスト意識は必要、設計委託会社で4Fの回転率、キッズファクトリーなど検討を進めている」との答弁だった。

更にこの問題に対し、平成28年度多摩市



一般会計予算に対する付帯決議がなされている。

決議事項

一 大規模修繕にあたっては都市計画税等多様な財源を活用し、市債などの後年度負担が過大にならぬよう財政計画に留意すること。今後相次ぐ大規模修繕や公共施設整備を念頭に、当該予算の上限を強く意識し、多額になる総事業費についても可能な限り削減の努力をすること。

二 平成28年度の予算はあくまでも基本計画・設計にかかわる費用である。よって、拙速に事業を進めることがないよう留意するとともに、多摩センター全体の更なる活性化につながるよう工夫し、市民への説明責任をはたすこと。

三 当施設は多摩市を代表する文化施設であることに鑑み、複合文化施設の基本計画・設計にあたっては、利用者のみならず広く市民及び議会との情報共有及び意見の反映に努めること。

以上だが、ここに至る前に、議会としてその存在について議論、更に行政に対峙する議会としてのパルテノン多摩の改修提案はできないのか。調査、分析、批判も大事だがこ

の付帯決議後の市民の代弁者としての議会
対応に注目したい。

自治基本条例違反ではないか？

市民参加という観点から、伊地智議員の図書館の質問の中に「多摩自治基本条例は市民参加を保障しているのにこの点において条例違反ではないのか」の質問に対し、市長は「これまでも行政と議会で決定してきている。ここで決めるしかない」と明確に答弁している。これは言い換えれば「あなた方も市民の付託を受けた市民の代弁者で政策提案をする立場でもあるはず。」



市長は多くの有能な専門行政スタッフを抱えているが、議員にはないとぼやくなかれ。あなた方にも、14人市民スタッフがいます。市民は行政スタッフに対価を払い、その上でまた議員のスタッフとなっているのだ。足りざるところを補完する二元代表制（市長も・議員も市民の直接選挙）のいいところと考えたいが、市民は行政のチェックだけではなく行政に対峙し得る政策提案ができる議会・議員を選ばなければならない。

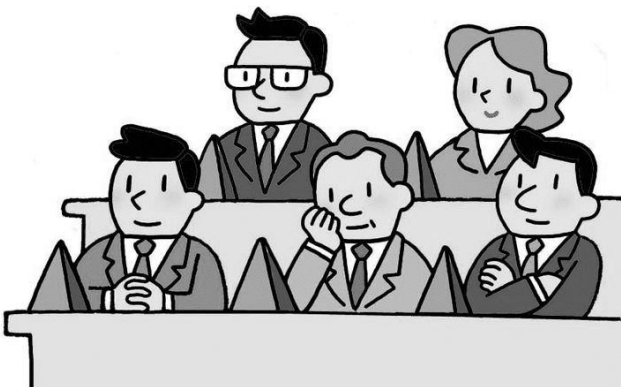
今回のパルテノン改修は一大エポックと市民は思っている。この大テーマの取り組みには会派を超え、議会は一丸となった提案を一つくらいしてもらいたい。

**市民参加をアリバイ作りに
利用してはいけない！**

6月議会は3常任委員会の所轄事務調査として閉会中に継続調査審議を行うようだが、議会は是非基本計画策定委員会進行中に行政チェックの批判スタンスから改修はかくあるべきとし市民をうならせてほしい。

このまま進むと行政の定石として、次工程のワークショップ、パブコメも「市民参加のもと、十分に市民意見を取り入れて反映した

計画となった」的なアリバイ作り、御用達の委員会で終わりそんな危惧を抱かざるを得ない。



パルテノンに80億円の大改修計画進む

「ちよつと待った」と8月に市民討論会 住民に戻せ……W会予備論議で疑問続々

特集

「パルテノン」と言っても、当たり前だが古代ギリシャの神殿のことではない。多摩センター駅を南側に出ると、ゆるく上る大通りの向こうに大きな中央石段と四本柱の門を備えてデンと聳える、あれだ。もちろん市立

で「多摩市立複合文化施設」というのがお役所的な正式名称らしい。

この「文化施設」を80億円も使って改修するという計画が進んでいるのをご存じか。開館29年、老朽化が激しいというのが主な理由である。市の今年度予算に初期の費用が盛り込まれ、計画は原則的にゴーになった。だけ

ど、東京都の前知事が使った金なんかよりほかに巨額の税金が消費されるこの話、このまますんなりとスルーしてしまっていないのだろうか。

「ウオッチング多摩の会」(Wの会、神津幸夫代表)が「ちよつと待った」と声を上げた。この問題をテーマに8月11日の「山の日」に、そのパルテノン多摩の会議室で市民討論会をやることにしたのだ。その討論会に向けてWの会会員と市民有志が先日、この問題でザックバランな予備的論議を試みた。さまざまな問題点が浮かび上がった。遂には「話にならない。住民に戻すしかないな」という溜息まじりの発言が出るほどに疑問が続出した。今号でお知らせするのは、その談論風発の前身である。参加者は大橋慶一、神津幸夫、小山笑太、庄子元、田上順次、橋本孜、花谷修一、半田拓司、深沢宏行、水野宏、元山隆、山下亨、山田倫彦の13人。

市民側委員に落選、W会代表

A 8月の討論集会は行政主導でも議会主導でもない、市民集会としてやりたい。改修計画の現在の進捗状況は基本計画策定の委員8人を有識者と市民から選んで7月8日に最初の委員会をやった段階です。6月10日付で市議会に配られた資料を見ると、この後市民ワークショップなどを開いて来年3月末の基本設計完成に向けて議論を重ねていく。策定委員にはウオッチングの会代表も応募したんじゃないですか？

B 代表は「応募すべきだ」という会員の声にそのかさかれてやむなく八百字の論文を書いて応募したんですが、幸か不幸か採用されなかった。

C よかったね。(笑い)
僕は採用されるんじゃないかと思って、実は心配し

D ていた(笑い)。まあしかし、確かに市のアライバイ工作に使われたり、はやりの第3者委員会みたいな取



ちよつと待った! その80億円!

り込まれたなどと思われたりしない方がよかったかもしれない。(笑い)

市庁舎も中央図書館も、改修話ラッシュ

F いま改修話のラッシュですね。パルテノンのほかに市庁舎と中央図書館。全部重要案件ですよ。それをどういうわけか同じ時期にやる。

D そんなことできるんですか。担当する市の職員だったままじゃありませんか。夏休みも取れないんじゃないか。

C 少子高齢化で財政的にも下り坂のこの時期に不可解な話ですね。まさかその業界か政界から圧力がかけられているんじゃないだろうね。

D そんな話、あるの？

G 市役所にはますます人がいなくなる。結局丸投げするんじゃないですか。

F すべてにおいて政策の最終責任を誰が持っているのか、ということですよ。

建設費は81億、30年前

H パルテノンの改修費は2012年、つまり4年前に阿部市長が市民への説明会を3週間で13回やったときには33億と公言しています。それが劣化回復ということでは58億になり、次に実施設計を入れて71億8000万、これにバリアフ

リー対策が加わって80億円以上(81・8億)になった。3年前

の市の見積もりでは39億4000万円ですよ。

I この調子だと80億では収まらないかもしれない。

F アクセスを改善したりバリアフリーにして起債のイメージアツプをする。それに20億くらいか。

80億以上にはいきそうですね。

J 30年前に作ったときに81億でしょう。建物や設備、ユーティリティにいくらかかるのか、知りたいですね。私はパルテノンに入って写真を撮って調べてきたけど、ヒビなんかそんなに入っていないですよ。大ホールの椅子なんかやり替える必要はないし、一体どこをどう改修しようとしているのか。なぜ作った費用と同じだけかかるのか。ごもつともですけど、この80億は市が

改修費用案(多摩市)		2016年3月市議会報告
劣化回復		約58.4億円
// + 実施設計		約71.8億円
// + // + バリアフリー対策		約81.8億円
財源案		
基金：25% (都市計画税の積立金)		
起債：75% (10年償還…都市計画税充当)		

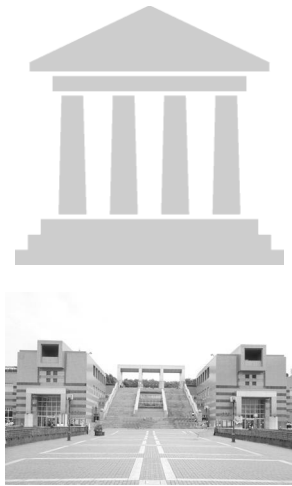
出してきている数字です。今は業者を入れて2億何千万で基本設計などをやる。それから更新計画を作っておつしやるのはその後に出てくる話なんです。

A 立川17億、武蔵野45億

専門家から見るとそんなにかかるとは思わないでしょう。80億で建てたのだったら30億くらいでやるようにすべきなんだ。それが普通でしょう。作つたときには国や都にかなり出してもらって、出来てからの運営はもちろんだ。多摩市の責任だ。今度80億もかけて贅沢な改修をして30年後に子や孫の世代の重荷にならなければいいがという心配もある。

改修費の経緯

2007年	約39億7400万円	多摩市ストックマネジメント計画
2012年	約33億円	説明会での市長発言
2013年	約35億8500万円	公共施設の適正配置に関する行動計画策定支援業務委託 報告書
2013年	約39億4000万円	市提案



J 私たちのNPO法人は公共事業の技術監査(NPO法人「地域と行政を支える技術フォーラム」が発注先業者に対して基本設計完成時に内容と費用が妥当かどうかを監査する)や技術職員研修をやっているのですが、多摩市近辺で人口10万人以上の地方自治体で技術監査をしていないのは多摩市だけです。ほかの自治体ではやっているのに、多摩市ではなぜやっていないのか。こっち側に立った専門家がいないと話がおかしくなるね。

I 近くの他市の場合を見ると、立川市では2014年市民会館の改修費は17億4200万と金額が少ない。武蔵野市では2015年に市民文化会館の改修費として56億、46億、40億、27億という4案を提示して市民参加で議論して45億に落ち着いたんですね。

ビッグ・ベン47億

A 茅野市(長野県)の場合を言うと、市民会館の建設を市民が議論を交わして作り上げた。それを指導したコンサルタント会社が今度、パルテノン改修の事業者の中にも入っている。

F 茅野市で実績があるからというので入れたんでしょうが、そういうことは今ではどこでもやりますよ。そういう時代なんです。

A 茅野市では、どんな市民会館を作ろうか、という最初の段階から市民が参加しているんですね。作ってあるものをどうするか、というのとまったく違う。熊本城やロンドンのビッグ・ベン(英国会議事堂の時計塔)の改修費はいくらだったですか。

K ビッグ・ベンが47億(CNN)、熊本城はその後かなり上がって350億~400億になったらしいけど、当初は100億だった。

D 国宝熊本城の改修だってそのくらいに見積もられていたんだよね。(笑い)。

他施設の大規模改修費

パルテノン多摩 敷地面積: 7,100.99㎡ 延床面積: 15,283.57㎡

施設名	改修費	改修時期
立川市市民会館 敷地面積 5,514.70㎡ 延床面積 11,995.68㎡	約17億4200万円	2014年
武蔵野市民文化会館 敷地面積 7,646.46㎡ 延床面積 14,8536.47㎡	約45億1250万円 56、46、40、27億円 約45億8590万円	2015年 総事業費 2015年 基本計画(4案併記) 2014年 改修案
弘前市民会館 敷地面積 3,236.14㎡ 延床面積 5,593.73㎡	約28億6525万円	2014~2016年
相模原市民会館 敷地面積 6,122.90㎡ 延床面積 6,918.32㎡	約10億9660万円	2013~2014年
野々市市文化会館 敷地面積 17,702㎡ 延床面積 5,638㎡	約8億8149万円	2010~2011年
宇都宮市文化会館 敷地面積 33,102㎡ 延床面積 17,000㎡	約31億円	2015~2017年

6月市議会は音なし

K だけど、80億が妥当なのかどうか、その根拠は知りたいですね。

A 3年前の試算は39億4000万だった。それが急に2倍以上になった。なぜそうなったのか。やはり都市計画税とそれを積み立てている基金が使えるようになったのが大きいでしょう。ほかの公共施設全般の改修費も、見直し、再配置計画を作るとかなりの額になる。

F トータルで91億です。それで図書館をいくつかツブす。この時はパルテノンについてはまだ金の話は出てなかった。公共施設のワースト10なんて言ってパルテノンも福祉センターもプールも入っていたが、市の施設白書では数字を入れずトータルで数字を出していた。

B 予算を通したときの3月議会では付帯決議がついたけど、この間の6月議会ではパルテノンについて一言も出ていない。異論の提



示もなかったですね。3月議会に市から出た資料にはパルテノンは年間15億円の経済波及効果を生み出している、なんて書いてあったが、実は市は毎年5億以上の金を税金から注ぎ込んで維持してきたんです。そんなに持ち出していないが何が15億の経済効果なのか。波及効果には利益だけじゃなくマイナスの波及効果もあるんです。パルテノンはどれほど利用されているんですかねえ。

センター地域活性化のために

G 大ホールなんか週の半分は空いているんじゃないか。稼働率は50%くらいかな。

H 平成26年の数字だと、全体の稼働率は64.2%ですね。中学や高校の発表会にけっこう使われているらしい。

L つまり議会は80億はそのままにしておいて、市の言うことを唯々諾々と聞いて呑んでしまっているんですね。

F 岩永(ひさか)さん(市議)は、この問題はセンター地域の活性化のためにやるべきだ、と言っている。

A パルテノン問題は議会では常任委員会で一応継続審議になっているんだけど、もっと細かい問題を議論するために「パルテノンをどうするか」という本質的な

F テーマを論議するためではない。市議会には計画の妥当性、計画性を調査して判断するという姿勢は一切ないんです。

30年前と同じ理念で

B 問題を具体的にすると例えば大ホール。1414人入るんだが、市の財政規模に対応していない。その上に府中や八王子などの隣接の市も大きなホールを持っている。もつと効率的にやるのなら、それなりの利用によって市からの持ち出しを抑えて採算性を考えるべきなんです。それなしにはパルテノンを核とするセンター地区の活性化はあり得ない。

F 大ホールは中途半端だという声が議会では出ていたね。小沢征爾を呼んで演奏会をするにしても音響効果がダメだとか。いずれにしても、そういう隣接市と協議しながら市民の納得のいくものにするべきですよ。あるいは、別の機能に転換するという考えもあるんじゃないか。改装して中央図書館にしたらどうかとか、客席を800にしてもつと利用しやすくなるか。

目玉はキティーちゃん

A 以前から言っていることだけど、人材を

- A** このままだと市の計画のままいつちゃ
- A** パルテノン最優先の根拠はあるのか
- G** 何人かは反対派を入れてやってほしいですね。
- A** そういう形で「市民の意見は十分に聞いた」というアリバイ作りに市には使われるんでしょう。そして外部には「市民参加で論議」なんて公表される。
- A** 理念は簡単には変えられないということとか。時代は大きく変わってきているのにね。これからも市民ワークショップとかパブリックコメント(市民の意見)とか、意見を言う場は作られているんだけど…。
- A** 理念は簡単には変えられないということとか。時代は大きく変わってきているのにね。これからも市民ワークショップとかパブリックコメント(市民の意見)とか、意見を言う場は作られているんだけど…。
- F** センター地区の目玉はキティーちゃんですよ。そういうアイデアは重要だと思う。パルテノンの建設当初の理念は考え直すしかないんじゃないか。しかし、議会で大改修をどうやるか、その理念を聞かれて部長と副市長は、最初の理念があるから「理念は要りません」と答えていた。

- A** これまでの話を聞いてみると、どこの自治体でも計画を出すときには選択肢を
- A** 対抗プランを出す
- C** しかし都市計画税の対象として、ほかと比べてパルテノンのプライオリティ(優先性)を納得させる材料がありますか。まったくないでしょう。
- F** 公共施設の中で下水道、橋梁は道路施設の一部になっています。
- H** 都市計画税について作られたから都市計画税の対象。パルテノンはその公園の一部ということで都市計画税が使える。新設だけではなく改修にも使えるようになったんで、市は舞い上がったね。
- A** 都市計画税って橋にも使えるようになったんですか。
- A** 都市計画税は3年先、市長選は2年先です。インフラで言うと、多摩市には橋が多い。大地震に襲われたら落ちるような橋も多いでしょう。都市計画税とその基金を使うなら、それらを比較した上でなおかつパルテノンの改修を最優先にするという根拠は一体なんですか。
- A** 選挙はいつでしたかね。
- G** 選挙はいつでしたかね。
- C** 市議選は3年先、市長選は2年先です。インフラで言うと、多摩市には橋が多い。大地震に襲われたら落ちるような橋も多いでしょう。都市計画税とその基金を使うなら、それらを比較した上でなおかつパルテノンの改修を最優先にするという根拠は一体なんですか。

維持コスト 単位：千円

施設名	維持管理コスト	運営コスト	コスト(合計)
パルテノン多摩	162,878	366,966	529,844
南野調理所	154,988	193,312	348,301
永山調理所	151,001	188,649	339,650
図書館本館	87,800	217,628	305,428
多摩保育園	29,842	243,159	273,001
健康センター	52,706	218,395	271,102
貝取保育園	27,328	225,522	252,850
資源化センター	57,245	191,113	248,358
本庁舎	201,044	18,198	219,242
温水プール	133,323	57,044	190,366

F そればかりと協議しないという行政の意思表示ですね。これで納得せよという説得と脅しだ。議論にならない。市長は行政と議会で決めるとはつきり言っ

いくつか用意するんだが、多摩市ではほとんど一つしか出してこない。口を揃えて多様性のある町になったと言っているんだが、そういう多様性には一つの案で応えられるとは思えない。

いる。

D 市民はどこにいったか、ということですね。あの人は市長になる前は、自治基本条例のワークショップに参加したりして市民派面をしていた人でしよう。

B パルテノンだったら、まず30年の歴史を振り返ってその間に何をやってきてどういう効果があったのか、ということを経験しておくべきなのに、それがまったく考えられてない。

C それをしておかないと、老朽・劣化の具体的なデータも出せないし、リアプリー化の内容だってしつかりしない。

A 歴史に学べ、の一言だね。問題は、これからどういう方向に行くべきか、ということですが。

F 対抗するプランを出す必要があると思う。すべてを市民参加のところに戻して30年をキチンと総括して持ち出しを含めて選択肢を3つ4つ作る。それを検討して出してくるべきなんだ。

市長は姿勢を示せ

J 機能が老朽化しているというけど、何が老朽化しているのか、明確に見えるようにしてほしいですね。

L 基本理念を明確にしておく必要があるんじゃないか。どこをどう直すかまで基

本理念にかかわりますからね。市長も言わないし、そうなると誰からも何も出てこない。

A 市長は「文化・芸術の発信拠点にしたい」と言っているようだけど。

L 大ホールにしても小沢征爾の演奏会ができるようなホールなのか、それとも小学校の生徒が合唱するような、カラオケに毛の生えたようなことができるようなホールでいいのか。両方は出来ないだろうから。その場合に委員会は何を基点にものを考えたらいいいのか。

A 市長が姿勢を示せ、ということですね。30年の歴史に立って次はこれだ、オレ



はこうやりたいからこうやろう、というような姿勢ですね。

F 市長に自分の考えがないのだったら市の職員に相談したらいいし、あるいはみんなに相談したらいいんですよ。

L 武蔵野や立川のように身の丈に合ったものにしてほしいね。

根本的な疑問と批判を

B 「センターの活性化につなげたい」というのは市の部長も議会で答弁しています。「だから大改修する」と言うんです。

F センター地区活性化のための中核は何か。今は何もない。パルテノンで小沢征爾の演奏会を、というのも1つかもしいないが、実は市庁舎も議会もセンター機能なんだ。とすれば市庁舎をセンター地区に持ってきて新しいセンターを作ればいいんですよ。財政危機でみんな総論ばかりやっているが、80億？何それ？という人だっているんだ。ピューロランドや三越を含めて基本的なポリシーをやったらどうか。状況は危機的だから、そのような根本的な疑問と批判をぶつけることが必要なんだと思う。そして最後は住民投票をすべきではないですか。ウーム。話にならないね。住民に戻すかない。出直してこいということですね。

M

私も議会に対して不満はありますね。こういう運動をしていくのには一番の問題は市民には何が問題なのか知らない人がいっぱいいる、ということでしょう。来年3月にほんとの案が出るまで市民に対して啓蒙活動というか、そういう活動をしていくのが一番重要だと思う。

F

この問題、ニュータウン(NT)再生にももちろん関係する。再生プランは諏訪永山から始めます、と言うんだが「センターはどうするの?」と聞くと答えがない。駅前の再開発もその計画の中に位置づけられる。少子高齢化で人口減少期に入ったNTをどうするか、ということにもつながっていく問題なんです。

K

議員を動かして陳情のような形で計画を覆すような手段が何かありますかね。

F

原理原則から言うと、複数案を示して市民の自己決定権にゆだねるべきじゃないか。タウンミーティングを重ねて住民投票して決する。最後には住民投票に持っていくのが理想じゃないか。

市民14万人全員が
ウォッチャーであり
サポーター!

40億か80億か、から始める

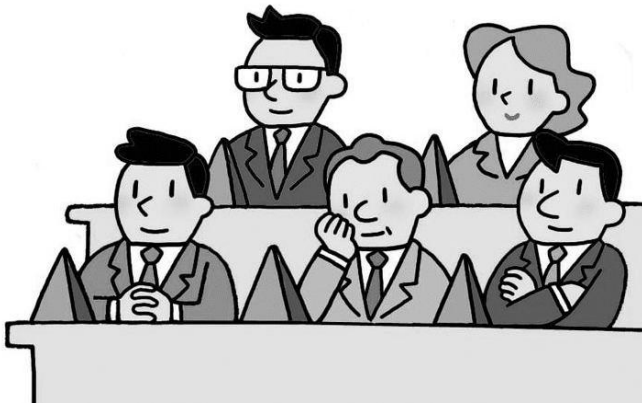
J 私には40億あればできるんじゃないかと思う。その場合、基本設計段階から技術監査は必要ですけど。

F

論議は40億でやるのか、それとも80億かけるのか、というところからスタートすべきでしょうね。

M

最後に行政に対して2点指摘しておきたい。一つは哲学の欠如です。どう活用するかを考えなければどう作り替えるべきかも分からない。内容が分からないまま容器だけ考えるのは愚かなことです。もう一つは、政策を作る順序が逆



入会申込書

氏名
住所
電話・FAX
メールアドレス

■会費・カンパ振込先■

みずほ銀行多摩センター支店 1197246
「多摩市議会ウォッチングの会」

■申し込み■

「ウォッチング多摩」の会 代表 神津幸夫
〒206-0034 多摩市鶴牧3-14-2-102 042-372-9496
HP: <http://watching-tama.com/>

★入会金は必要ありませんが、会報発行等の活動維持のために年会費2000円を頂いております。

です。机上の計画を市民への説明と説得で終わらせるのは民主主義の本末転倒でしょう。まず市民が次の世代のNTのシンボルとしてパルテノンに何を期待しているか、それを聞き、それに基づいて計画を立てる。それこそ行政の責任ではありませんか。